



投票率向上への取組と 本市における産後ケア事業について

堀口 きく枝 議員



質問 本年7月の県知事選では、期日前投票の割合が42・88%に上り、期日前投票を利用する人が大幅に増えました。期日前投票所へ利用するための交通弱者への対応は考えていますか。

公共の路線バスを活用したとの声も聞いています。

質問 投票所を実施している所が増えています。今後実施する予定はありますか。

質問 全国で、移動期日前投票所を実施している所が増えています。今後実施する予定はありますか。

質問 現在は特に行っていませんが、路線バスが比較利用しやすい場所であり、

質問 現在は特に行っていませんが、路線バスが比較利用しやすい場所であり、

たいと考えています。

要望 更に高齢化が進み車の免許を返納する方も増えていきます。また、障がいのある方や妊婦さんにも有効です。移動期日前投票所の設置を要望します。

質問 投票支援カードは、高齢者や障がい者の方を手助けするもので、投票所にてスムーズにサポートを受けるために必要な支援を事前に記入しておけるものについて、市の考えは。

質問 投票支援カードの導入を周知するパンフレットや投票支援カードも配置していきたいと考えています。

質問 本市における産後ケアについて伺います。

質問 産後の不安が大きい時期に助産師によるケアを受けることで、母親の身体的回復や授乳指導、育児相談を行っていただきます。サービス形態はデイサービス型、

質問 産後の不安が大きい時期に助産師によるケアを受けることで、母親の身体的回復や授乳指導、育児相談を行っていただきます。サービス形態はデイサービス型、

アウトリーチ型、ショートステイ型の3種類です。

要望 利用する本人負担の料金は国の補助金を活用し引き下げを要望します。

質問 携帯電話のラインによる育児相談システムについて認識していますか。

質問 認識しており、若いお母さんはチャット型の相談が気軽と考える方もいますので研究していきます。

要望 育児相談等ができるライン等による相談システムの導入を要望します。

安全安心な公園管理に努めています。

質問 子どもたちが安全に遊ぶため、遊具をどのように管理しているのか伺います。

質問 子どもたちが安全に遊ぶため、遊具をどのように管理しているのか伺います。

質問 職員と受託事業者が一体となって巡視、待機、現場対応を行なっており、

質問 職員と受託事業者が一体となって巡視、待機、現場対応を行なっており、



学校給食の食育活動と インクルーシブ遊具について

池森 のり子 議員



食育活動について

質問 本市の学校給食の食品口スの現状を伺います。

な工夫をしています。また、給食日よりや保護者の学校給食センター見学の際に情報提供しています。

質問 調理の過程で発生する野菜くずと食べ残しを合わせ、一人一日当たりでは50gとなっています。

質問 おいしく食べてもらうための工夫を伺います。

質問 献立や調理上で様々な工夫をしています。また、給食センター見学の際に情報提供しています。

要望 子どもたちに食の大切さを理解してもらうことは食べ残しを減らすことに直結すると考えています。食育活動の必要性を強く感じますので取組を更に発展させるよう要望します。

質問 市民の皆さんが安全に安心して公園で過ごすために、どのように管理されているのか伺います。

質問 職員と受託事業者が一体となって巡視、待機、現場対応を行なっており、

質問 職員と受託事業者が一体となって巡視、待機、現場対応を行なっており、

質問 子どもたちが安全に遊ぶため、遊具をどのように管理しているのか伺います。

質問 子どもたちが安全に遊ぶため、遊具をどのように管理しているのか伺います。

質問 子どもたちが安全に遊ぶため、遊具をどのように管理しているのか伺います。

質問 子どもたちが安全に遊ぶため、遊具をどのように管理しているのか伺います。

